

# コミュニティの活性化

## 多世代が集まる交流拠点 『茶山台としょかん』



泉北ニュータウンの茶山台団地（堺市南区）において団地再生に向けたモデル的なプロジェクトを推進しており、団地の集会所を多世代が交流できる小さなとしょかん『茶山台としょかん』として活用しています。公社から事業者への委託により、2015年12月から『茶山台としょかん』の運営を開始しました。今後は、団地の枠を超えた地域の人々が集う場としてさらなるコミュニティの活性化をめざします。



団地内集会所での「絵本の読み聞かせ会」



「オトナカイギ」



『茶山台としょかん』  
Facebookページ

### ■ 第1幕（2015年12月～2017年3月）

公社からの委託により、コピーライターである東 善仁（ひがし よしひと）さんが、実際に団地に住みながら団地の集会所を『茶山台としょかん』として運営し、東さんは住民同士のゆるやかなつながりを生み出す取組みを1年4ヶ月に渡り実施してきました。

それまで集会所は、自治会役員の会議や団地にお住まいの方の茶道部など、限られた一部の方だけが利用していましたが、『茶山台としょかん』の取組みをきっかけとして、住民発案による「0円マーケット」や地域ボランティアによる「絵本の読み聞かせ会」など数多くの成果を生みました。

### ■ 第2幕（2017年6月～）

本プロジェクトは、業務委託期間満了により2017年3月末をもって第1幕を終えましたが、今後も継続して地域コミュニティを活性化させていくために、新たな事業者としてNPO法人SEIN（サイン）を迎えた第2幕が2017年6月より始まりました。

入居者向けニュースレター「としよだより」の発行や団地や地域にお住まいの方が晩ご飯を持ち寄って交流を図る「オトナカイギ」の開催等を行っています。

### ○ 府立大学表彰の「マイクロライブラリーサミット2018」を受賞

この『茶山台としょかん』の取組みは、本を通じた人と人とのつながりを生み出し、地域に貢献するものとして、「マイクロライブラリーサミット2018」（主催：まちライブラリーブックフェスタ2018in関西、共催：公立大学法人大阪府立大学）において、『マイクロ・ライブラリーアワード』を受賞しました。



## 丘の上の惣菜屋さん『やまわけキッチン』

NPO法人SEIN（サイン）と連携し、高齢者の買い物支援・孤食の防止・健康寿命の延伸を目的に、泉北ニュータウン（堺市南区）の茶山台団地の一室を活用した「丘の上の惣菜屋さん『やまわけキッチン』」を2018年11月にオープンしました。今後、食を通じ多世代が集う交流拠点となるようめざします。

また、高齢者等の孤食等防止や健康寿命の延伸等に取り組んできたことが評価され、2019年11月に開催された厚生労働省主催の「第8回健康寿命をのぼそう！アワード」において、厚生労働大臣 優秀賞（団体部門）を受賞しました。

### みんなが集い、おいしいごはんと楽しい時間を 「山分け」る新しい考え方の「キッチン」

所在地：堺市南区茶山台2丁1番

茶山台団地21棟1階302号室

内容：惣菜販売

※持ち帰りの他に店内での飲食も可能で  
惣菜+ご飯・味噌汁のメニューもあり。

営業日：月・火・金・土曜日 11時～15時

利用者数：延べ2,774名（2019年10月末時点）

運営者：NPO法人SEIN（サイン）



店内での飲食



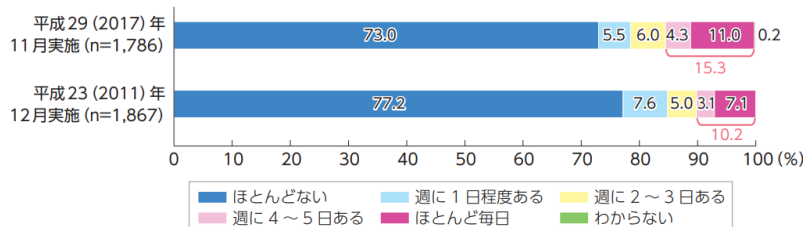
改装費用は、運営者が一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団の「住まいとコミュニティづくり活動助成」の助成金を活用し、床貼り・家具作り・ペンキ塗り等は団地にお住まいの方のDIY（日曜大工）で仕上げました。また、冷蔵庫やシンク等の機材や調理器具代はクラウドファンディング等で集めた寄付金で捻出しました。



団地にお住まいの方によるDIY

#### 【参考データ】

一日の全ての食事を一人で食べる頻度



泉北産の食材等を使い  
管理栄養士が考えた  
惣菜一品100円～



『やまわけキッチン』  
Facebookページ